

つながる EPO ネットワーク

全国 8 カ所に設置された
環境パートナーシップオフィス (EPO) の活動



ウィズコロナ時代のコミュニケーション

蒔田尚典 (環境省近畿環境パートナーシップオフィス)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、世界的に生活様式への大きな変化が求められ、近畿 EPO でも緊急事態宣言発令中の約 2 か月間は在宅勤務を取り入れ、外部との会議やスタッフ間の打ち合わせはオンラインが日常となった。

オンラインは、遠距離にいても顔を合わせて話ができたり、移動に要する時間がなく事業の効率化に繋がるといった利点があり、コロナ禍が落ち着きつつある今後も、オンライ



ンコミュニケーションは 1 つの手段として定着すると想定している。近畿 EPO では、地域循環共生圏構築に向けて、相互参照による取組のブラッシュアップや出会いによる仲間づくりを促す場づくりを行っている。これがオンラインでの実施となると、信頼関係が浅い関係者での合意形成やパートナーシップ構築には不向きではあると思われるものの、講演など知見や事例の情報発信や気軽な意見交換等の手段には有用であると感じている。

今後、オンラインを活用した事業を効果的に推進していくためには、講演者等の考えや想いを明確に言語化し、参加者の共通認識の形成を促すような教材が重要ではないかと考えている。この教材を参加者が手元で参照するとともに、画面では話し

手の表情や思いが伝わるように配慮することで、参加者は新たな知見を得られ、価値観の共有や行動化が促されるのではと考えている。

持続可能な社会づくりに向けて、環境パートナーシップオフィスの役割・働きは大きく変化してきたが、ウィズコロナ時代には今まで以上に創造性が求められるだろう。地域循環共生圏の実現・SDGsの達成に向けて、日々試行を重ねながら事業に取り組んでいきたい。

環境省近畿環境パートナーシップオフィス
コミュニケーションディレクター・
ジオパーク専門員
蒔田尚典 (まきたたかのり)

和歌山県生まれ。和歌山大学教育学部卒業後、民間企業に就職。2013年からは愛媛県西予市・北海道美瑛町の地域おこし協力隊としてジオパーク構想の立ち上げ・協議会運営から協働や合意形成を経験から学ぶ。2017年より現職。主に地域循環共生圏構築に向けた伴走支援を担当。

つな環

第 36 号

2020年9月発行

編集・発行：地球環境パートナーシッププラザ
<http://www.geoc.jp/>
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学 1F
Tel. 03-3407-8107 Fax. 03-3407-8164
開館時間：10:00～18:00 (火～金曜)
セミナー開催時は 21:00 まで
10:00～17:00 (土曜)
休館日：日曜・月曜・祝日・年末年始

関東地方環境パートナーシップオフィス (関東 EPO)
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 B1F
Tel. 03-3406-5180 Fax. 03-3406-5064
業務時間：10:00～18:00
休業日：土曜、日曜、祝日、年末年始

デザイン：安食正之 (北路社)
印刷：光写真印刷株式会社

GEOC/EPO からのお知らせ

5月22日「国際生物多様性の日」を記念して、GEOCとUNU-IASは「生物多様性特集サイト」を立ち上げました！

生物多様性に関する国内外の取組やイベント、政策などの情報を発信し、地球の生命の多様性を守ることをの意を共に考えることを目的としています。

ぜひ、ハッシュタグ (#生物多様性2020 / #Biodiversity2020) をつけて、個人や団体の生物多様性に関する取り組みを皆さんの SNS で共有し、このキャンペーンにご参加ください！

<http://www.geoc.jp/activity/international/26647.html>



つな環編集部

星野智子、尾山優子、江口健介、浦林貴子、菅原亮、若村高志、
今井麻希子 (順不同)

つな環

検索

「つな環」はインターネットからもご覧いただけます。
<http://www.geoc.jp/information/tsunakan>